

墨田区立図書館

・コミュニティ会館図書室

Newsニュース



図書館電話案内サービス

TEL : 3612-6048

みんなで新図書館

図書館であなたの企画を実現！ 新図書館開館プロジェクトリーダー募集！



新図書館開館プロジェクトリーダー講座

図書館では、地域住民の方々と協働して図書館を作り上げていくため、統合新図書館開館に向けて、プロジェクトリーダーを募集します。
展示、イベント企画、広報、地域情報の発信、デジタルコンテンツの制作等の“プロジェクトリーダー”となって活躍していただける方を対象とした講座を前期・後期の2クール開催いたします。前期講座では図書館に関すること、コミュニケーションの取り方、企画運営の立て方、運営の仕方を産学及びグループワークを通じて、学ぶことができます。後期講座は、より具体的、専門的な講座となります。
図書館や企画運営に興味のある方、ぜひご応募ください。

※統合新図書館：平成25年3月末、並成免舟駅前オープン予定

【費用】 無料
【対象】 区内在住・在学・在勤の方

申込方法 5月1日(火)
午前10時から受付

電話 3612-6048
※自動音声メニューの「8」を選択してください。

FAX 3612-6072
※お申し込み欄ご記入の上、送付してください。

メール azuma@city.sumida.lg.jp
件名は「開館プロジェクトリーダー申込み」、
本文に、「コース名(例)佐野氏名(年齢)」「連絡先の電話番号」を入力してください。

木曜コース 定員25名

【会場】 すみだ女性センター
【日程】 6月7日、14日、21日
7月5日、12日、19日
【時間】 午後7時～9時

土曜コース 定員25名

【会場】 すみだ中小企業センター
【日程】 6月9日、16日、23日
7月7日、14日、21日
【時間】 午後2時～4時

お申し込み欄

FAXの場合は必要事項を記入の上、
3612-6072 まで送付してください。

【コース】 木曜・土曜 【氏名】

【年齢】

【電話番号】

【住所】

お問い合わせ あずま図書館 TEL 3612-6048 ※自動音声メニューの「8」を選択。



こんにちは。



八広図書館です。



墨田区立八広図書館は、昭和55年10月1日に都営住宅1階で開館し、多くの利用者に親しまれています。

図書館内は、一般書架、児童書架に分かれ、特設コーナーとしてえほんひろば、ヤングアダルトコーナー、新刊書コーナー、展示コーナー、特集コーナーがあります。

一般書架には、他館に比べ地形図が豊富に取り揃えております。

児童書架にある「えほんひろば」の壁面は毎月違うものを飾っています。その飾りは館内施設の板の間を利用して、月はじめの児童行事「おはなしとあそびのじかん」で、こどもたちと一緒に作っています。

書棚は天井までありノスタルジックな雰囲気を醸し出しています。

館内には図書館の他にホール、和室、板の間があり施設貸出を行っています。

皆様のご来館をお待ちしております。



八広図書館

えほんひろば

地図架

所在地

〒131-0041

墨田区八広五丁目10番1-104号

電話：3616-0846

ファクス：3616-0672

最寄り駅

八広駅（京成）徒歩10分 ・ 東向島駅（東武）徒歩10分

四つ木橋南詰（バス）徒歩5分 ・ 八広（バス）徒歩5分

ベストリクエスト

順位	書名	著者	予約数
1	舟を編む	三浦しをん著	307
2	麒麟の翼	東野圭吾著	301
3	マスカレード・ホテル	東野圭吾著	271
4	ジェノサイド	高野和明著	246
5	人生がときめく片づけの魔法	近藤麻理恵著	243
6	謎解きはディナーのあとで 1	東川篤哉著	239
7	下町ロケット	池井戸潤著	238
8	ナミヤ雑貨店の奇蹟	東野圭吾著	223
9	真夏の方程式	東野圭吾著	199
10	謎解きはディナーのあとで 2	東川篤哉著	167

寄贈のお願い

予約が集中している資料については、複数冊購入していますが、早期の提供ができない状況です。上記の予約多数図書で、読み終えてご家庭でお持ちのものがありませんでしたら、図書館への寄贈をご検討下さい。ご寄贈いただける場合は、お手数ですが、図書館・コミュニティ会館にお越しの際にお持ち下さい。お持ちいただいた本は、図書館の資料として活用させていただきます。

私の本棚



健康のためなら死んでもいいのか？

毛利子来×幕内秀夫・著

主婦は、朝昼晩と一日三回も食事のメニューを考え、作らなければならないので、家事の中でも食事作りはかなりウエイトを占めています。毎日何を作るうかと頭を悩ませている方も多いのではないのでしょうか？たまには、手抜きをしたいところですが、子育て中のお母さんは、子供や家族を病気にしてはいけなさと頑張り、離乳食から始まり幼児食、食べ盛りの子供時代と青年期と忙しく頑張っている方も多いと思います。今回はそんな悩みを抱えた主婦に朗報？の肩の力がぬける本を紹介したいと思います。子供の食事作りの本、食育の本は山のように出版されていますが、どの本も野菜を食べよう、6つの基礎食品をバランスよくとりましょう。と数値や塩分の制限がやらに多く、作る側もうんざりする内容が多かったのですが、「健康のためなら死んでもいいのか？」毛利子来×幕内秀夫・著は、それらを覆す内容でした。毛利さんは有名な小児科医ですが、今まで色々な子育て本を書いていきますので、皆

さんもご存知だと思えます。幕内さんは管理栄養士でたくさんの料理本や食に関する著書を出されています。この二人が食に関するテーマを対談したものをまとめた本です。その著書の中に「好きなものを食べておけばいい、人間の赤ちゃんな、人間の子供だから、人間の食べるものならどんなものでもいいはずなので、その子の欲しがるものを食べられるだけあげればいい。あまりに高いものとか、遠くまで行かなければ手に入らないもの、スナック菓子やお菓子、ごはんだけが食べられない子を除けば」と、この言葉になぜか？私は救われました。もつとぎつくりゆつたり構えればいいのだな」と「子どもが野菜嫌い何が悪い！」幕内秀夫・著には、「一升酒を飲んででもなんでもない人もいれば一滴も飲めない人もいるように、子どももそれぞれ個人差がある。三歳四歳で、野菜を食べる子もいれば、七歳八歳にならないと野菜を好まない子どももいる。個人差を無視して、野菜を食べないと次の料理を食べさせないとは、脅かしを越えて拷問と呼ぶべきだ」と書かれています。これらの本を参考に食事作りも楽しく、食事の時間を楽しく過ごすことが一番の栄養であり、食育なのかもしれないと感じました。同著者の「子どもレシピ」「子どもおやつ」もおおすすめです。

(ブックサークル玉手箱 えとよん)

今月の特集コーナー

館名	今月の特集コーナー
あずま図書館	一般書：「追悼特集 吉本隆明氏」ヤングアダルト〔Y・A〕：「部活で青春！第二弾」 児童書：「本で世界のくにめぐり」 窓ぎわの児童書「おりようりのほん」
緑図書館	一般書：『『富める』『豊かさ』とは何か？ - お金・労働・価値・・・ -』 児童書：「おでかけだいすき！」 ヤングアダルト〔Y・A〕：「部活で青春！第二弾」
寺島図書館	児童1室：「はるうらら」 児童2室：「春の花」
立花図書館	一般書：「すみだ再発見」 児童書：「心のSOS」 えほんのひろば：「おともだちっていいな」
八広図書館	一般書：「ちょっと不思議なものがたり」「食べものの話」 児童書：「としょかんおすすめの本」「おかあさん・おとうさん」
東駒形コミュニティ 会館図書室	一般書：「リフレッシュ！！気分転換をしよう。」 児童書：「子どもの読書週間 としょかんのおすすめ」「しゅっぱつしんこう！」
梅若橋コミュニティ 会館図書室	一般書：「趣味特集 ～何かはじめてみませんか？～」 児童書：「おかしなおかし」
横川コミュニティ 会館図書室	一般特集1：「映像化された本」 一般特集2：「癒されて、明日は元気！」 児童特集：「さぁ！おそとへ あそびに でかけよう」「お母さんのえほん」

子ども読書の日おはなし会を開催しました。

『子ども読書の日』にちなみ、4月23日の前後に墨田区の図書館・図書室では「子ども読書の日おはなし会」を開催しました。あずま図書館では4月22日に開催し、ご家族が来館され、お楽しみいただきました。

また、あずま図書館では「子ども読書の日」にちなみ、図書の特別展示「本で世界の国めぐり」を5月12日まで開催しております。ぜひ、お子さんとお出かけください。

子ども読書の日とは？

平成13年12月にできた「子どもの読書活動の推進に関する法律」によって、4月23日が「子ども読書の日」と定められました。



墨田区立あずま図書館で
おはなし会をしている様子です。

緑図書館（すみだ文化講座）と資料展【5・6月】

すみだ文化講座 152

しびれる日活アクション！ 芸能で見る戦後昭和（4）

講師：藤田武司氏

日時：5月6日（日）午後2時～4時

場所：緑図書館3階学習室

資料展 日活100年記念

「すみだと映画資料展」 街の映画館で日活のスターにあこがれた頃

ミニ文学展

「斉藤緑雨資料展」

期間：4月7日（土）～5月6日（日）

場所：緑図書館1階、3階展示コーナー

すみだ文化講座 153

講演：工作機械とすみだ

講師：鈴木昭氏

日時：6月10日（日） 午後2時～4時

場所：緑図書館3階学習室

資料展

「東京スカイツリー撮った！描いた！集めた！」

ミニ文学展

「露伴と五重塔」

期間：5月12日（土）～6月17日（日）

場所：緑図書館1階、3階展示コーナー

「すみだ」今昔、本の一言 —東京スカイツリーの建つ土地—

いよいよ東京スカイツリーの開業が間近となりました。

建設地は押上一丁目1番地、東武鉄道本社の敷地内で、少し前までは貨物の操車場となっていた所です。商業施設のあるイーストタワーの辺りは日本初の生コン工場があった所で、磐城セメントが昭和24年11月に創業しています。

東武が本所区横網一丁目20番地からここに本社を移転させたのは明治44年3月の事です。当時は浅草停車場という駅名でした。浅草は隅田川の対岸ですが、東武はここに本社を置いて、隅田川を越えて浅草まで路線を延ばそうという意図があって名付けたものでした。実際に隅田川を越えて浅草に駅ができたのは、昭和6年になってからのことで、旧浅草駅は業平駅となり、今年3月17日にとつきようスカイツリー駅となりました。業平橋や業平の町名にのこる業平の地名の由来は、吾妻橋三丁目6番にあった、しばらくは地藏で有名な南蔵院の業平塚によるものです。古くからあったこの塚は在原業平の東くんだり結びつけられ江戸以前より伝説となっていました。

さて、東武が移転する前の小梅瓦町は、小梅村の一部で古くは田圃が続き、梅が香る地であったといわれます。江戸になって田圃が武家の屋敷として召上げになり、農業も出来ないの瓦細工を始めるようになって、万治寛文の頃から瓦町と唱えました。天明の頃、ここで萬古焼きを始めた萬古友次郎というものがいたそうです。明治の初め東京府に編入された頃は、42戸、180人ほどが住み、下駄や

蠟燭が主な物産となっています。隣り合う押上や請地は江戸の頃、水仙で知られ、明治には番微やダリアなどの切り花の産地であったことは錦絵や画家伊藤晴雨の自伝などで知ることが出来ます。明治20年の実測図では、この辺りのほとんどが耕作地です。これは、明治政府が市街地と鄉村地を分け(朱引きという)、北十間川の北側は鄉村部に入つたためと思われる。明治11年の区画整理では、東京スカイツリーの場所は南葛飾郡に属し、中ノ郷村になっていきます。字名に八反目耕地、四ツ谷があります。(以前、鶴屋南北の「四谷怪談」はこの地を指しているという私説を述べたことがあります)明治22年東京府が東京市になった時、従来鄉村地であった小梅村、中ノ郷村、須崎村、押上村、請地村が本所区に編入されて町となり、東武の敷地となる所も江戸の町名に復して小梅瓦町となっています。

東京スカイツリーの南を流れているのは北十間川ですが、明治未頃までは埋められていました。現在の京成橋辺りに江戸の頃は押上橋が架かり、その西側から業平橋の辺りまでが埋められて鶴の御鷹狩場になっていました。西端の堤には後に曳舟川といわれる本所上水が通り、堤から西の隅田川までを源森川、東を流れる川を十間川、あるいは十間堀ともいっていました。十間川は横十間川があるので、その北を流れるところから北十間川と名付けられました。北十間川の伝説があります。昔、源兵衛という人が釣餌を求めてこの当りの川筋を掘り進むうちいつしか大きな堀となり源兵衛堀と呼ばれたが、その源兵衛が業平橋の東詰に甘味屋を開き、店は空襲で焼けるまでであったという。子孫にあめ屋があり、源兵衛堀の河童の息子でございませう。と唄いながらあめを売ったのが大正の初めまで評判になっていた。『墨東叢誌』にあります。北十間川は明治43年の

洪水があった時から、隅田川の高水の中川に落とすために堀割って現在のようになくなりました。業平橋の辺りはやや大きめの蜷が採れ、業平堀として江戸の名物でした。現在北十間川沿いに魅力的な遊歩道が出来て、観光客だけでなく、近隣の人たちが散歩やランニングを楽しんでいる姿がみられます。

さて、いつもの蛇足ですが、「すみだ」で高いものといえば、江戸の頃なら本所横堀の時の鐘(江東橋と北辻橋の西側辺りにあった)で八メートルは越えていたでしょう。明治には東両国一丁目12番の湊屋牛店の時計塔が大川端に一際高くそびえ建っていました。明治37年に落雷で壊れ、関東大震災で焼失しています。震災記念堂の塔は約41メートル、昭和51年に法恩寺に建てられた三重の経石塔もありません。しかしながら、かつては工場の煙突のほうが目立つたことと思われます。ともかく、東京スカイツリーは634メートル、日本一高い展望台を持つ「すみだ」の新名所です。まずは、開業を祝いたいと思います。

(真津志麻記)



写真：北十間川(生コン工場を望む) 1965年頃

- 参考
- 『東武鉄道百年史』
 - 『墨東叢誌』
 - 『墨田区史』
 - 『東京府志料5』
 - 『江戸名所記』
 - 『伊藤晴雨自画自伝』
 - 『明治・東京時計塔記』
 - 『被服廠』
 - 『江戸の時刻と時の鐘』
 - ほか

墨田区立図書館・図書室 5月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	憲法記念日 3	みどりの日 4 横「おはなしのじかん」15:45~	こどもの日 5 八「おはなしとあそびのじかん」10:30~ 立「おはなし会」14:00~ 寺「おはなし会」14:30~ 東「おはなしのもり」スペシャル10:30~
6 緑「すみだ文化講座」14:00~	7 東・梅・横 コミュニティ 図書室休館	8	9 八「おひざでえほん」11:00~ 緑「こうさく会」15:15~	10 緑「小さい子どものためのおはなし会」10:30~	11 横「おはなしのじかん」15:45~ 	12 八「おはなしとあそびのじかん」10:30~ あ「あそびとおはなし会」11:00~ 立「おはなし会」14:00~ 寺「おはなし会」14:30~ 梅「おはなし会」15:00~
13	14	15 東「おはなしれっしや」10:30~	16 緑「おはなしのへや」15:15~	17 館内整理日 全館休館	18 横「おはなしのじかん」15:45~	19 八「おはなしとあそびのじかん」10:30~ 立「おはなし会」14:00~ 梅「おはなし会」15:00~
20 あ「小さい子どものためのおはなし会」11:00~	21	22 寺「おひざでえほん」10:30~	23 あ「こうさく会とおはなし会」15:15~	24  毎月25日はすみだ家庭の日	25 横「おはなしのじかん」15:45~	26 八「おはなしひろば」10:30~ 立「おはなし会」14:00~ 梅「おはなし会」15:00~
27	28	29	30	31		

9日(水曜日)の緑図書館の「こうさく会」は『ブーメランをつくろう』です。
 23日(水曜日)のあずま図書館の「こうさく会とおはなし会」は『はなDEかざりをつくろう』です。
 6日(日曜日)の緑図書館の「すみだ文化講座」は、一般向けの講座です。
 行事の詳細は、各館に直接お問合せください。

あずま図書館 文花 1-19-1 電話:3612-6048	緑図書館 緑 2-24-5 電話:3631-4621	寺島図書館 東向島 3-34-4 電話:3611-4610	立花図書館 立花 6-8-1-101 電話:3618-2620	八広図書館 八広 5-10-1-104 電話:3616-0846
東駒形コミュニティ 会館図書室 東駒形 4-14-1 電話:3623-1141	梅若橋コミュニティ 会館図書室 堤通 2-9-1 電話:3616-1101	横川コミュニティ 会館図書室 横川 5-9-1 電話:5608-4500	すみだ女性センター 押上 2-12-7-111 電話:5608-1771	

【開館時間】
 火曜日~土曜日・・・9:00~20:00
 日曜日・月曜日・祝日・・・9:00~17:00
 コミュニティ会館図書室は、月曜日の開館時間が9:00~20:00です。

【休館日】
 館内整理日《毎月第3木曜日(祝日にあたる場合は翌日)》、年末年始
 コミュニティ会館図書室は、毎月第1月曜日も休館日です。